

シービホロ

No.78

ふるさと美幌の自然と語る会

第24回美幌町ふるさと祭り 雨にも負けず 盛況!



第24回目となる美幌町ふるさと祭りが例年どおり9月4日～6日の3日間開催され、語る会の出店参加も23回目となりました。森の大工さんは最初からやっていますので、当時遊んでいた子供が大人となり、生まれた子供と遊ばせる時代になっていると思います。最近では、親子で物を作る光景が多くなりました。

軽トラに肥料袋35袋ほどの材料を仕入れていますが、3日間でほとんどなくなってしまいます。材料を無料で提供してくれている友人に大感謝です。



森の市場は、手作りエプロンや小物に大人や子供たちにも人気です。

食べ物屋台が多くなっている出店の中で、私たちのような店は貴重な存在になっています。

一年がかりで製作した、池本さんの手作り品は、毎年楽しみ買いにやってくるリピータも多くいます。

ありがたく使ってくれる人がいると作る方も嬉しいものです。



平野の野菜販売は、長谷川さんの売り方も板について、売上は過去最高の18万円を超えました。お祭りに合わせて、栽培時期を調整したり、椎茸の生育に気がついたり、袋詰め等大変な作業ですが、町民の皆さんに安心安全な野菜として、大好評でした。

昔懐かしいプリンスメロンですが、若い人は、店には売っていないものなので、これ何と聞いてきます。1個100円で以外と売れました。

黒大豆の枝豆は、味が濃厚なので試食してもらおうとほぼ全員美味しいと言って買って

くれました。お客との会話を楽しみながら売るのがオモシロイところです。



子供向けに植物、昆虫、動物等の自然に関する事や美幌町の郷土に関するクイズを出して、正解したら景品がもらえるコーナーを設けています。

やるよ！の声に子供たちの輪が出来ます。昨年に引き続き、八重柏さんの担当で、頑張ってもらいました。

美幌町のお祭りは、必ず雨が降ると言うジンクスの通り、初日から雨に当たりました。それでも土日を挟んだので、人ではまあまあでした。売上34万円オーバーは過去最高でした。

きのこ観察会、見つけるとうれしい



10月4日、きのこ観察会を会員メンバー中心に開催しました。

今年のキノコの出かたは、少し不作の年のようでした。温暖化の影響か、9月～10月にかけて朝晩の寒暖の差があまりなく、湿気がなかったのが不作の原因だと思われます。

きのこの種類や数は少なかったですが、ハイイロシメジやアカハツ



ハイイロシメジ

タケ、キクラゲやオシロイシメジ等が採れました。

山ブドウやコクワ等も不作の年でした。ヒグマたちの大事な餌として、人間の方は今年はお預けです。

森林公園の樹木プレート

みどりの村の中に樹木が沢山ありますが、ひとつも樹木プレートがなく、役場の方で予算化したことにより、取り付ける樹種や解説について、調査の依頼を受け、枝澤と鬼丸で行いました。

90枚ほど製作したとのことで、取り付けについては公社の方で実施となりました。町民の皆さんに散策しながら、樹木に関心を持ってもらえるとうれしいです。



北海道社会貢献賞を授賞（森を守り緑に親しむ功労者）

平成27年度の北海道社会貢献賞として、私たちの会が選考されました。森を守り緑に親しむ功労者には、全道で個人団体から10名が選ばれています。オホーツク振興局管内では、語る会だけです。選考の依頼は、東部森林室より声かけがあり、会の経歴や活動内容を事前に書類審査の上、決定されたものです。

形式的ではありますが、美幌町長名で道庁に推薦された形になっています。式典は、12月15日、札幌で行われますので、代表して枝澤が出席してきます。